

蓄電システムの設置条件

対象機種：ESS-T3シリーズ

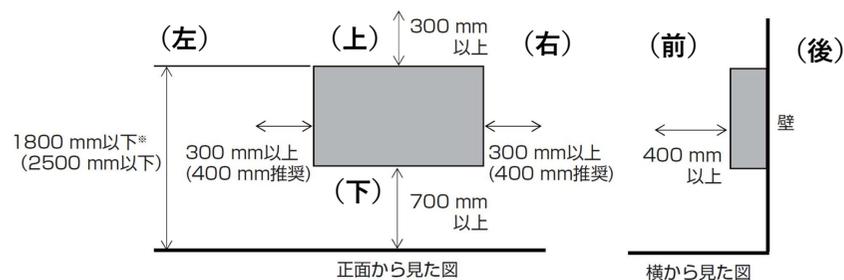
必要な離隔距離(設置スペース)

各機器には、機能、性能を確保するために、下記のスペースが必要です。

①パワーコンディショナ (屋外設置)

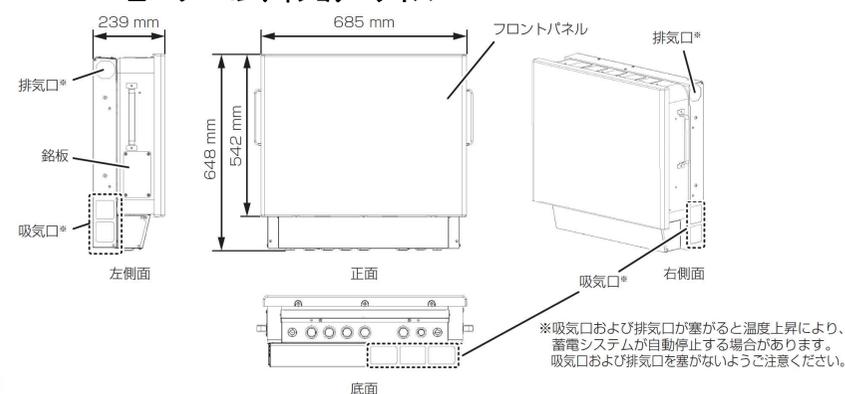
本機器の周辺に前面：400mm、左側面：300mm（400mm推奨）、右側面：300mm（400mm推奨）、上面：300mm、下面：700mm以上のスペースの確保が必要です。（下図参照）

■設置スペース図

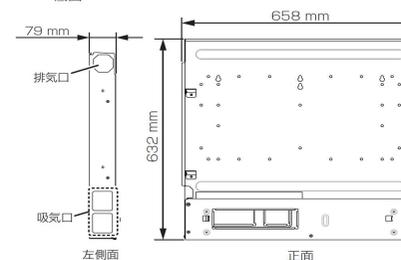


※パワーコンディショナの上面が地上から1800mmを超えるところには設置できません。
(ただし、豪雪地帯では2500mmを超えるところ)
設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置費用を請求する場合があります。

■パワーコンディショナ サイズ



■壁取付金具



【設置】製品質量に耐えられる強固な垂直壁面に固定してください。

- ① 梁間が260mm程度で梁を利用して取り付けられる場合
- ② 柱間が455mmで柱を利用して取り付けられる場合
- ③ 柱間が455mm以上でこれらの柱を利用して取付金具を取り付けられる場合 (オプション品のパワコン取付ボードを用意して910mmピッチの柱に固定)

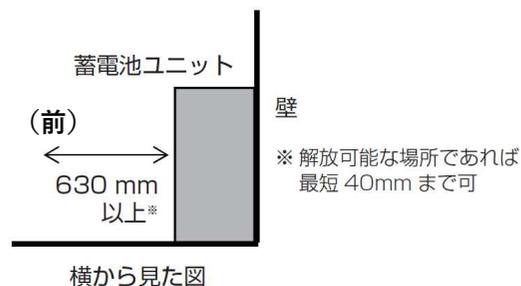
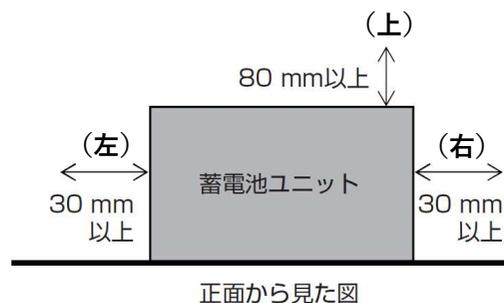
※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。
高所設置の場合、アフターサービスに時間がかかる場合があります。

■屋内設置

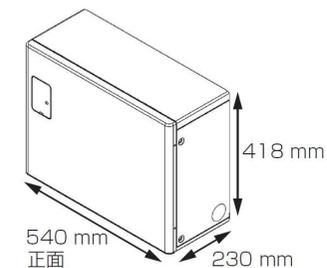
②蓄電池ユニット有りの場合

本機器の周辺に前面：630mm[※]、左側面：30mm、右側面：30mm、上面80mm以上のスペースを確保する。（下図参照）

■設置スペース図

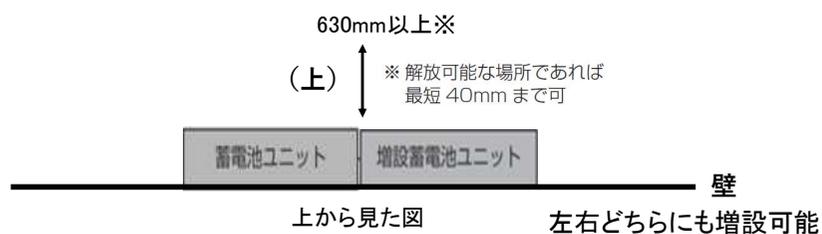


■屋内蓄電池ユニット



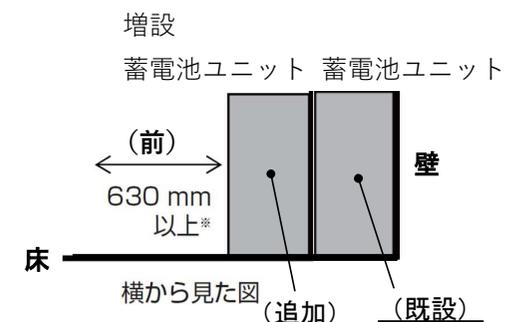
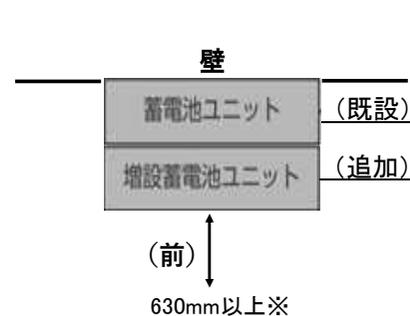
③増設蓄電池ユニットを設置する場合
【左右増設】

～1000mmの範囲



【前後増設】

例) 下図は、後から増設蓄電池ユニットを追加設置した場合です。「蓄電池ユニット」「増設蓄電池ユニット」は外観としては、同じですが「蓄電池ユニット」はブレーカが装着されています。



※上記スペースが確保されていない場合
アフターサービスを実施できない場合がございます。

※ 解放可能な場所であれば
最短 40mm まで可

■屋外設置

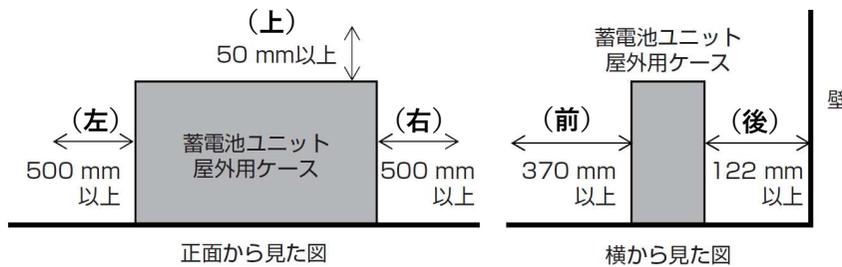
④蓄電池ユニット有りの場合

簡易基礎の設置が前提となります。

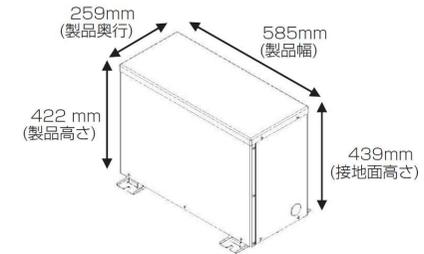
- ・屋外用ケース底面を簡易基礎に固定し、ベースプレートを屋外用ケース底面の上に固定してください。
- ・蓄電池ユニットの筐体をベースプレートの上に固定する。

屋外用ケースの周辺に前面：370mm、左側面：500mm、右側面：500mm、上面50mm、背面122mm以上のスペースを確保する。（下図参照）

■設置スペース図



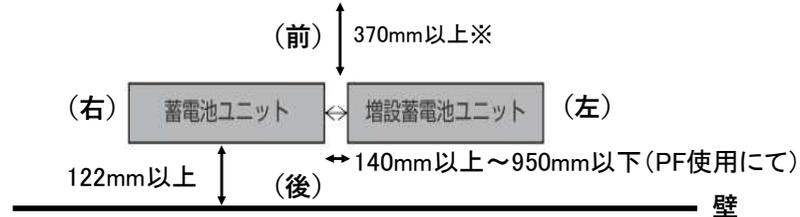
■蓄電池屋外用ケース (ES-T3H3) 装着時



⑤増設蓄電池ユニット(屋外ケース)を設置する場合

【左右増設】

筐体間をPF管で接続する。



【前後増設】

前後増設はできません

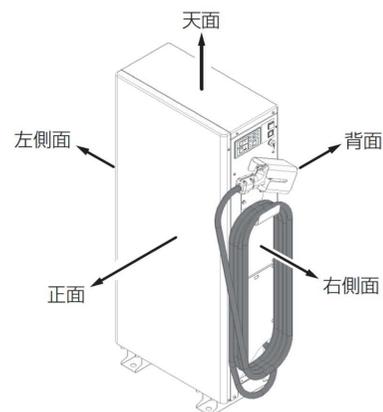
※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない
場合がございます。

⑥V2Hスタンド(屋外設置)

本機の周辺に前面:450mm、左側面:300mm、右側面:500mm、上面:200mm、背面50mm以上のスペースを確保する。

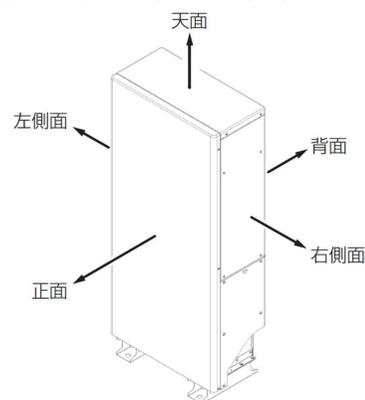
■設置スペース図

■V2H スタンド (一体型)



正面	: 450mm
背面	: 50mm
左側面	: 300mm
右側面	: 500mm
天面	: 200mm

■V2H スタンド (セパレート型)

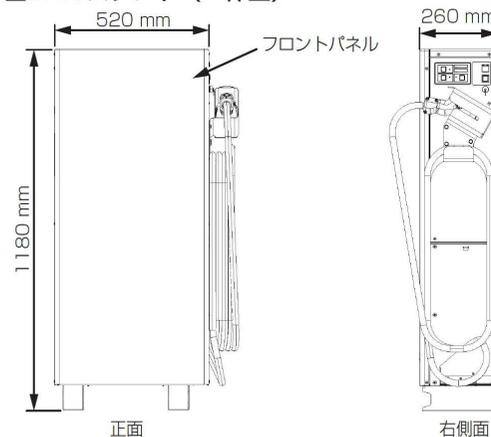


正面	: 450mm
背面	: 50mm
左側面	: 300mm
右側面	: 500mm
天面	: 200mm

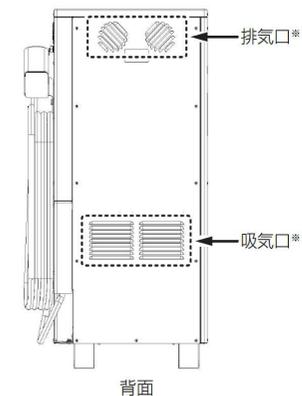
※上記スペースが確保されていない場合
アフターサービスを実施できない場合がございます。

V2H 一体型システム (ES-T3V*)

■V2H スタンド (一体型)

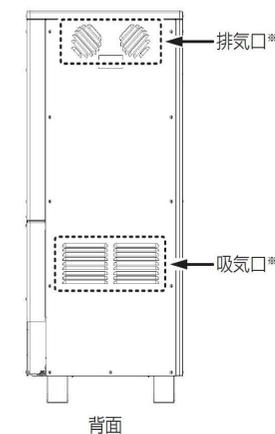
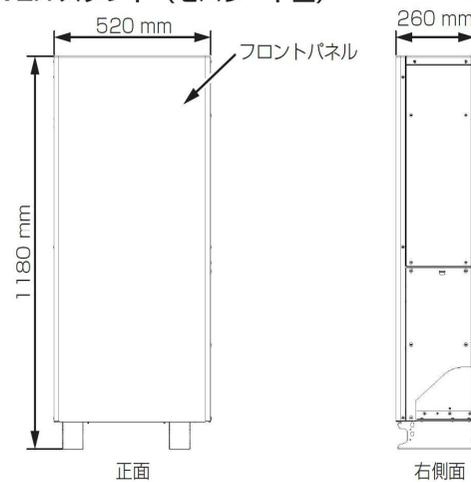


※: 吸気口・排気口が塞がると、温度上昇によりV2Hシステムが自動停止する場合があります。吸気口・排気口を塞がないようご注意ください。



V2H セパレート型システム (ES-T3P* / ES-T3PL*)

■V2H スタンド (セパレート型)



⑦V2Hポッド(屋外設置)

A: 壁掛け設置する場合

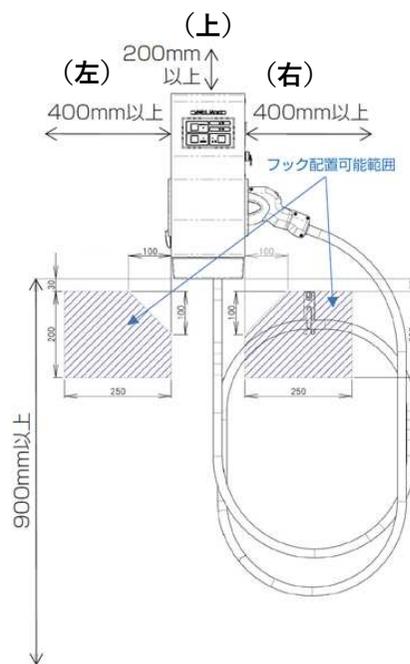
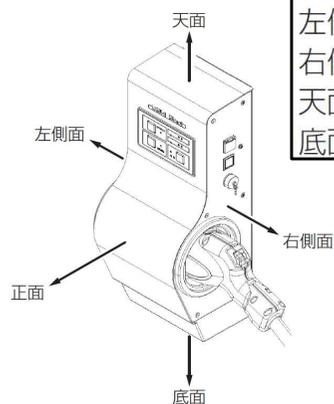
本機器の周辺に前面: 200mm、左側面: 400mm、右側面: 400mm、上面: 200mm、下面900mm以上のスペースを確保する。(下図参照)

■設置スペース図

<V2Hポッド>

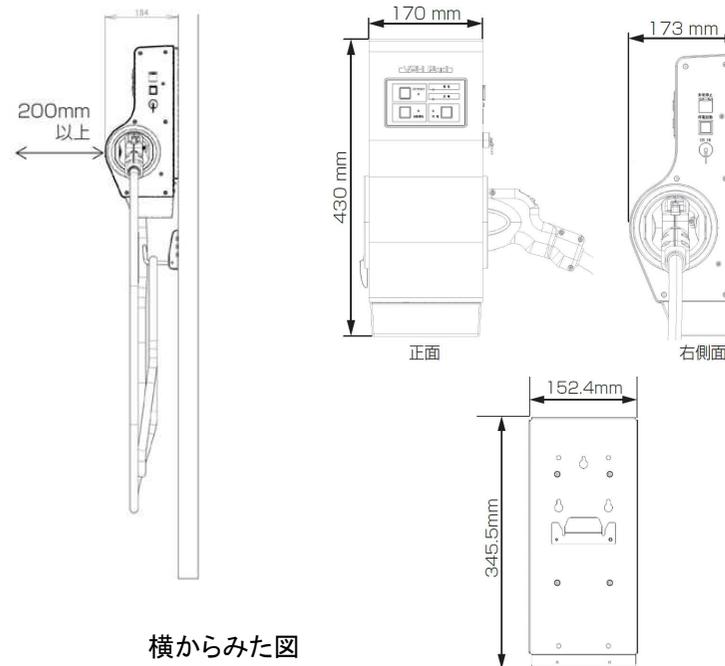
■壁掛け設置の場合

正面	: 200mm
左側面	: 400mm
右側面	: 400mm
天面	: 200mm
底面	: 900mm



正面からみた図

■ V2H ポッド



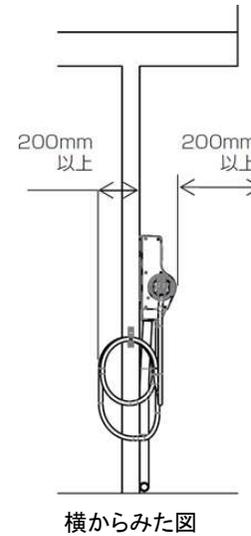
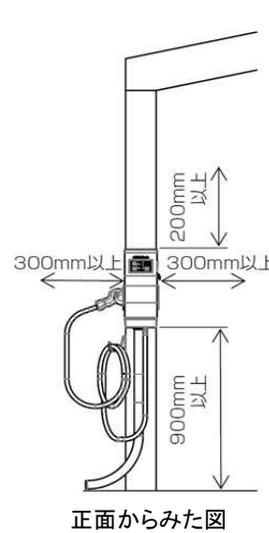
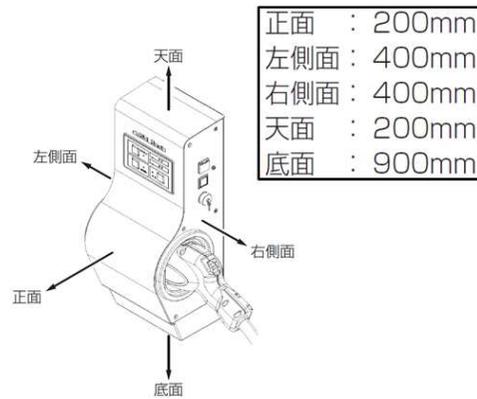
横からみた図

※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。

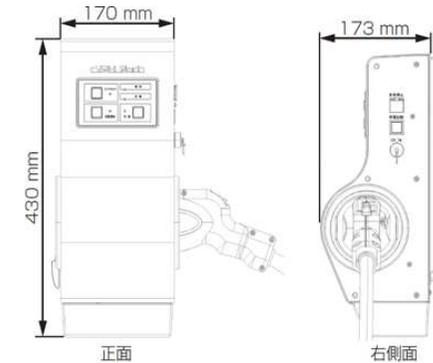
B: 既設のポール等に設置する場合

本機器の周辺に前面：200mm、左側面：300mm、右側面：300mm、上面：200mm、下面900mm、
既設のポール・柱側面にフックを設置する場合は背面200mm以上のスペースを確保する。（下図参照）

■ 設置スペース図 <V2H ポッド> ■ 壁掛け設置の場合



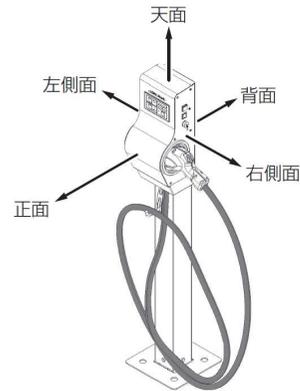
■ V2H ポッド



C: 専用のポールに設置(地面(土間コンクリート)に設置)する場合

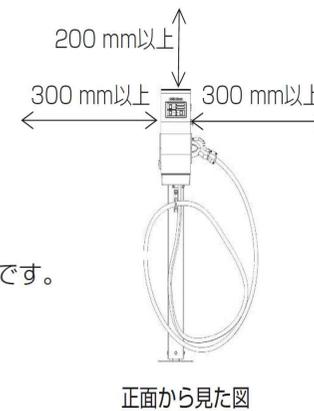
本機器の周辺に前面：200mm、左側面：300mm、右側面：300mm、上面：800mm^{*}(※次頁記載、組立作業スペース)、
背面200mm以上のスペースを確保する。(下図参照)

■ 設置スペース図



■ ポール設置の場合
正面 : 200mm
背面 : 200mm
左側面 : 300mm
右側面 : 300mm
天面 : 200mm

※V2H ポッド用ポールはオプション品です。

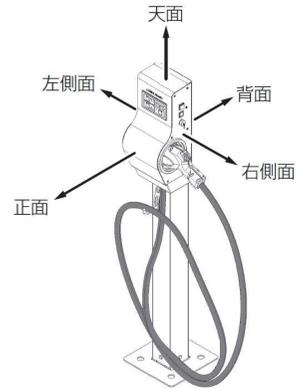


※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。

D: 専用のポールに設置(地中基礎に設置)する場合

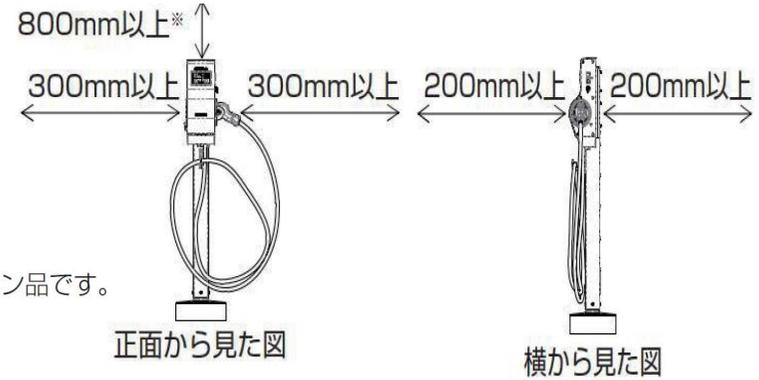
①本機器の周辺に前面：200mm、左側面：300mm、右側面：300mm、上面：800mm^{*}、背面200mm以上のスペースを確保する。(下図参照)

■ 設置スペース図



■ ポール設置の場合	
正面	: 200mm
背面	: 200mm
左側面	: 300mm
右側面	: 300mm
天面	: 200mm

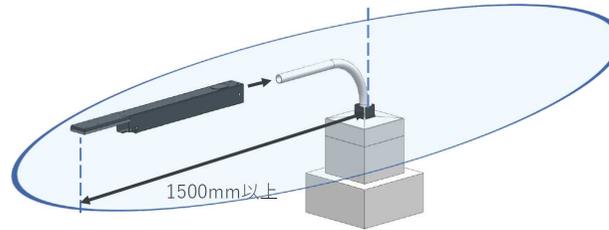
※V2H ポッド用ポールはオプション品です。



※ ポールの組立作業において、PF 管を通す際にポッドの上面に 800mm の距離が必要となります。(上面 800mm 以上の離隔は施工時のみ必要となります。)

[V2H ポッドの上面に 800mm が確保できない場合]

- 基礎は、ポール中心から地面と水平に 1500mm の空間 (下図円上) に 1 方向が作れるように配置してください。
- ポール (上側) の設置は、PF 管を倒してポール (上側) に通して取り付けてください。



上面 800mm 以上の離隔が取れない場合の設置方法

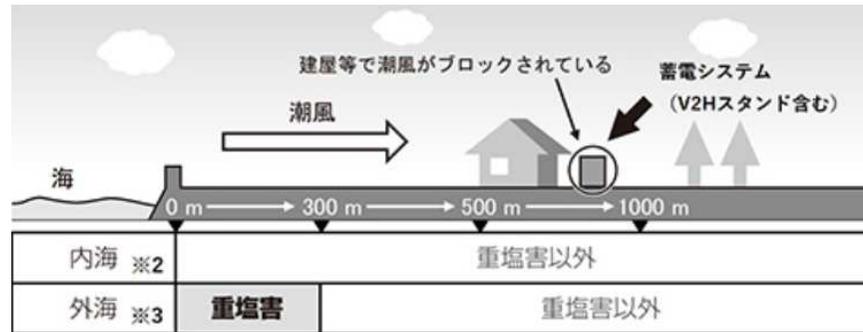
■塩害の影響による設置可否について

蓄電システムが設置可能な場所を下表のように定めています。
 “沖縄・離島(※1)以外の地域、かつ、重塩害以外の場所”であれば設置可能です。

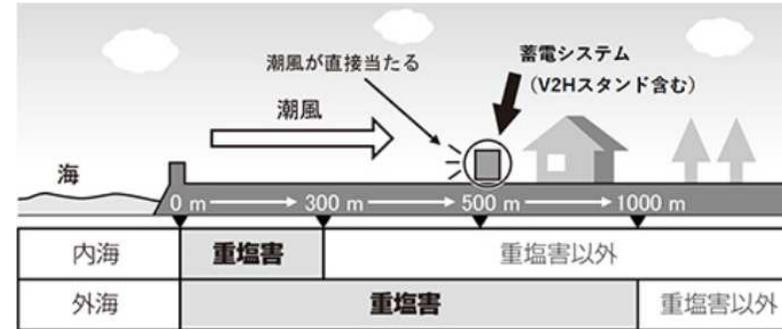
地域による区分 塩害レベルによる区分	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
	重塩害	×
重塩害以外	×	○

○：設置可
 ×：設置不可(重塩害モデルは設置可)

●直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場合



●直接潮風が当たる場所



- ※1.離島:本土から離れ、四方を海で囲まれている島で内海に浮かぶ島は除く
- ※2.内海:瀬戸内海(図3の水色のエリア)、東京湾(図4の水色のエリア)、伊勢湾(図5の水色のエリア)
- ※3.外海:内海以外の海

詳細エリアに関しては、ホームページを参照ください。 https://www.nichicon.co.jp/products/ess/qa_juengai.html

※上記条件を満たさない場所への設置による不具合は保証の免責となります。また、被害の程度によってはアフターサービスを実施できない場合がございます。

■その他設置に関する注意事項



■次のような場所には取り付けない

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット（屋外設置）

- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 風通しが悪いところ、屋内（物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む）
- 販売会社で決められていないところ
- 日射が長時間当たるところ（日射による設置条件については 10 ページ参照）
- 結露および氷結のあるところ
- パワーコンディショナ設置時に上面が地上から 1800mm を超えるところ（豪雪地帯では 2500mm を超えるところ）
 - ※ 設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置費用を請求する場合があります。
- 次の温度範囲以外のところ
 - 設置環境温度：-30℃～+45℃（パワーコンディショナ）
 - ：-10℃～+45℃（蓄電池ユニット）
 - 動作温度：-20℃～+40℃（パワーコンディショナ）
 - ：-10℃～+40℃（蓄電池ユニット）
 - （動作温度範囲を超えると動作が停止したり出力が低下しますが、範囲内に戻ると自動復帰します）

- 車両と接触するおそれや排ガスが直接あたるところ

室内リモコン・蓄電池ユニット（屋内設置）

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温度範囲以外のところ
 - 設置環境温度：0℃～+40℃（室内リモコン）
 - ：-10℃～+45℃（蓄電池ユニット）
 - 動作温度：0℃～+40℃（室内リモコン）
 - ：-10℃～+40℃（蓄電池ユニット）
 - （動作温度範囲を超えると動作が停止したり出力が低下しますが、範囲内に戻ると自動復帰します）

V2H システム（V2H スタンド・V2H ボッド）

- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他のガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 風通しが悪いところ、屋内（物置、倉庫を含む）
- 販売会社で決められていないところ
- 結露および氷結のあるところ
- 次の温度範囲以外のところ
 - 設置環境温度：-30℃～+45℃
 - 動作温度：-20℃～+40℃
 - （動作温度範囲を超えると動作が停止したり出力が低下しますが、範囲内に戻ると自動復帰します）
- 建物の屋根等から雪庇、つらら等が落下するところ
- 200cm を超える積雪がある地域

- ※ 上記に該当しない場所であれば積雪地でも設置可能ですが、設置の際は以下の点にご注意ください。
 - ・雪囲いの設置は不要ですが、設置する場合は、V2H システムの設置スペースを必ず確保してください。（28 ページ）
 - また、雪囲いの中に雪が積もる場合は、吸排気口が塞がったり、充放電コネクタの使用に支障がでたりしないよう、定期的に除雪してください。
 - ・V2H システムおよび周囲への融雪剤散布は、錆が発生するおそれがあるためお控えください。

■日射の影響による設置可否について

日射の影響に応じて、パワーコンディショナ、蓄電池ユニット（屋外設置）およびV2Hシステムが設置可能な場所を下表のように定めています。

設置の際は下表の条件に従い、作業を行ってください。

	日中、建屋により日陰になる場所	日中、日光が当たる場所
パワーコンディショナ	○	(※)
蓄電池ユニット(屋外設置)	○	×
V2Hシステム (V2Hスタンド・V2Hポッド)	○	○

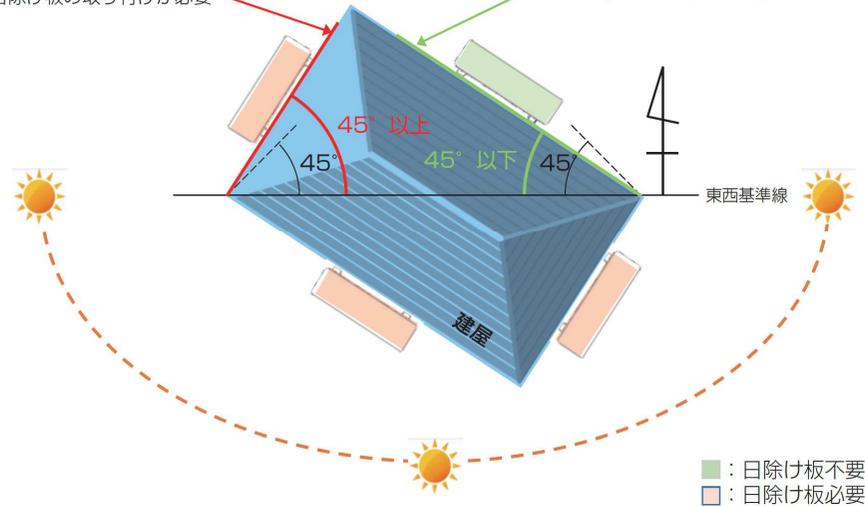
※ 建屋の南側の壁面にパワーコンディショナを設置する場合は、日除け板（ES-T3H1）の取り付けが必須となります。 ○：設置可、×：設置不可

※ 建屋の北側の壁面にパワーコンディショナを設置する場合は、壁面の角度が東西基準線に対し「45°以上」もしくは「45°以下」のどちらかに応じて、条件が異なります。詳しくは下図を確認してください。

■パワーコンディショナ設置方角図

45° 以上の場合：
日除け板の取り付けが必要

45° 以下の場合：
日除け板の取り付けは不要



※上記条件を満たさない場所への設置は、蓄電システムの温度上昇を招き、意図しない運転停止や製品寿命の短縮などに繋がる恐れがあります。

※上記条件を満たさない場所への設置で起きた故障や不具合は、保証の免責となります。